

平成30年度

事業報告書

## 平成30年度 事業報告

平成30年度の国内経済は、個人消費の持ち直しや企業の設備投資の増加など、経済の好循環が着実に回りつつある中で、緩やかな回復が続いてきたが、本県においても、平成28年度の熊本地震の復興需要が本格化する下で、個人消費等において、弱めの動きはあるものの、基調としては緩やかな回復が継続している。

このような中、トラック運送業界においては、地震からの復興需要は、ピークを過ぎたがしばらくは続くと思われるものの、本格的な少子高齢化社会が進展するとともに、日々深刻さを増している若年労働者の不足や「働き方改革」の浸透による労働時間の短縮等により、各事業者の経営環境は引き続き厳しい状況にある。

これらの状況を背景に、政府（国土交通省等）においては、トラック運送業界の働き方改革や取引運賃の改善に向けて、各種協議会、検討会等を設置し、労働基準法の改正により時間外労働について罰則付きの上限規制が導入された「働き方改革関連法案」の成立（平成30年6月29日）、過労防止関連違反等に係る行政処分の処分量定の引き上げを行うなどの「行政処分の強化」（平成30年7月1日施行）、また、トラック業界の健全な発達を図るために、規制の適正化や標準的な運賃の告示制度の導入等の「貨物自動車運送事業法の改正」が行われた。（平成30年12月8日）

このため、当協会においては、「行政処分の強化」の際の、国、県への要望活動の実施や新標準貨物自動車運送約款の荷主企業等への更なる周知・促進等により、トラック運送業界だけでは改善困難な長時間労働の抑制や適正運賃・料金収受に向けた取り組みを進めたほか、国等に対しては、全ト協と連携し、自動車関係諸税の簡素化・軽減、高速道路料金の更なる引下げ、働き方改革実現のための諸対策に係る補助・助成の拡充等に関する要望を、熊本県に対しては、トラックドライバー不足に対応するための労働力の確保、高速道路料金の割引制度、軽油価格高騰、公益社団法人熊本県トラック協会防災総合センター建設等の要望（注1）を行った。

さらに、「生活（暮らし）と経済のライフライン」として、国内物流の約92%を担うトラック運送事業者の「社会的貢献」が正しく理解・評価され、その社会的地位が向上し、将来的に若者に選ばれる業界になるように様々な施策に取り組んだ。具体的には、交通事故防止大会の開催、無事故チャレンジ運動や環境クリーンキャンペーンの実施、交通事故防止用品の配布等による交通・環境対策の推進、安全性優良事業所（Gマーク）の拡大や特別巡回指導等による輸送秩序の確立、求人転職合同説明会の開催や物流出前授業の実施による労働力確保対策の推進、労務管理や企業経営に関する各種セミナー、講習会の開催、アドバイザー体制等活用による経営基盤の強化、広く県民の皆様にトラック運送事業の社会的な貢献を理解していただくための「トラックの日（くまフェスへの出展）」等のイベント開催、マスコミ等を活用した広報活動に取り組んだ。

実施事業等の詳細については、次のとおりである。

(注1)

**【県ト協の主な要望事項】**

最重点項目

1. トラックドライバー不足に対応するための労働力の確保について
2. 高速道路料金の割引制度について
3. 軽油価格高騰について
4. 公益社団法人熊本県トラック協会防災総合センター建設について

重点項目

5. 「改善基準告示」の弾力的な運用について
6. モーダルシフトの活用に係るフェリーの利用助成制度の創設について
7. 高速自動車道における大型トラックの速度制限緩和について
8. 農業予算による生鮮農産物輸送に係る生産者が負担する運賃の一部補助の要望について
9. 車両制限令に係る処分の緩和及び特殊車両通行許可審査の短縮について
10. 市街化調整区域の利用規制の緩和について
11. 運輸事業振興助成交付金の使途拡大について
12. モーダルシフトの研究費用の助成について
13. 小学生に対する物流の現状理解促進の取り組みについて
14. 地下タンクの改修にかかる費用の補助及び制度の緩和について

〔総務・交付金運営委員会〕

1. 最重点項目

(1) 各種要望・陳情活動の積極的な推進 **法人会計**

トラック運送事業の社会的な貢献が一般消費者等に適正に評価され、魅力あるトラック運送業界となるよう業界の現状理解と政策要望等について、各種機会をとらえ、「平成31年度の税制改正に関する要望」や「チームくまもとに対する業界の要望」について、議会をはじめ県選出国會議員や熊本県、石井国土交通大臣等に対して、次のとおり陳情要望を行った。

① 石井国土交通大臣等に対する政策要望

日時：平成30年4月14日（土）午前11時00分～

場所：ホテル熊本テルサ

対応：（協会）正副会長、青年部会継運会福田洋部会長、同部会松木一史副部会長、専務理事、常務理事、常勤参与等事務局

（公明党）石井啓一国土交通大臣、江田康幸衆議院議員、河野義博参議院議員、城下広作県議會議員、氷室雄一郎県議會議員、鈴木弘熊本市議會議員、前田憲秀県議會議員、藤岡照代熊本市議會議員

② 県選出自民党国會議員に対する陳情要望

日時：平成30年11月19日（月）18時30分～

場所：ホテルニューオータニ東京

対応：（協会）正副会長、青年部会継運会福田洋会長、専務理事、常勤参与（国會議員）野田毅氏、金子恭之氏、坂本哲志氏、木原稔氏、馬場成志氏、藤木眞也氏

③ 自民党熊本県支部連合会に対する陳情要望

日時：平成30年11月30日（金）14時00分～

場所：自民党県連会館2階役員室

対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、常勤参与

（県連）前川收幹事長、藤川隆夫幹事長、松田三郎総務会長、吉永和世政務調査会長

④ 熊本県に対する陳情要望

日時：平成30年12月10日（月）16時00分～

場所：熊本県庁本館審議会室

対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、常勤参与

（県）磯田淳商工観光労働部長、福島誠治農林水産部長、宮部静夫土木部長、浦田商工振興金融課長他

(2) 災害発生に備えた人材の育成等及び各種防災訓練等への参加対応など **公益1-【3】**

- ① 災害発生時の緊急物資輸送に対し、対応する物流専門家を育成するため、専門講師等を招へいし、次のとおり講習会を開催した。

日 時：平成31年2月22日（金）13時30分～

場 所：公益社団法人熊本県トラック協会

講 師：(株)日通総合研究所シニアコンサルタント 矢野裕之氏

熊本市政策局危機管理防災総室 主幹 大塚和典氏

公益社団法人全日本トラック協会交通・環境部課長 吉田将一氏

参加者：会員企業22社28名、他行政機関等出席者10名

- ② 災害等が発生した場合に備えて、各企業が事業継続計画（BCP）を構築するため、熊本県中小企業団体中央会の協力を得て専門講師を招へいし、次のとおり講習会を開催した。

ア BCP策定講習（初級編）

日 時：平成30年9月27日（木）13時30分～

場 所：(公社)熊本県トラック協会

講 師：MS&ADインターリスク総研(株)上席コンサルタント 坂井田 輝氏

参加者：28社40名

イ BCP策定講習（ステップアップ編）

日 時：平成31年2月4日（月）13時30分～

場 所：(公社)熊本県トラック協会

講 師：MS&ADインターリスク総研(株)上席コンサルタント 坂井田 輝氏

参加者：14社19名

- ③ 緊急物資輸送担当者連絡会議

日時：平成30年5月31日（木）10時30分～

場所：熊本県庁

対応：(協 会) 専務理事、常勤参与他事務局（5名）

(熊 本 県) 危機管理防災課、健康福祉政策課、商工政策課、農林水産政策課、消費生活課

(九州運輸局) 熊本運輸支局

(事 業 者) 熊本県倉庫協会、日本通運(株)熊本支店、ヤマト運輸(株)熊本主管支店、佐川急便(株)南九州支店 全22名出席（順不同）

- ④ 災害発生時の緊急物資輸送等の対応

ア 平成30年6月に発生した大阪府高槻市での地震において、災害時の緊急物資輸送協定に基づき、熊本県健康福祉部健康福祉政策課からの緊急要請を受け、被害が発生した同市への緊急物資輸送を行った。

輸送車両：10トントラック2両

イ 平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた公益社団法人広島県トラック協会（以下広ト協）、一般社団法人岡山県トラック協会（以下岡ト協）、一般社団法人愛媛県トラック

協会（以下愛ト協）に対して、会員企業から集められた義援金（広ト協200万円、岡ト協150万円、愛ト協100万円）を贈呈した。（集まった義援金7,782,970円）

期日：平成30年9月12日（水）

（広ト協、岡ト協、愛ト協）各トラック協会にて手交

対応：広ト協（小丸協会長、為廣副会長、専務理事）

熊ト協（住永協会長、吉住専務理事）

：岡ト協（重友副協会長、西田専務理事）

熊ト協（住永協会長、吉住専務理事）

：愛ト協（一宮協会長、和田副会長、板倉常務理事）

熊ト協（住永協会長、吉住専務理事）

ウ 平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震により会員事業所において人的被害等が発生した公益社団法人北海道トラック協会（以下北ト協）に対して、同様に義援金（100万円）を贈呈した。（義援金残額2,282,970円）

期日：平成31年1月10日振込にて対応

エ 平成31年1月に発生した熊本県和水町の地震において、災害時の緊急物資輸送協定に基づき、熊本県健康福祉部健康福祉政策課からの緊急要請を受け、緊急停止した新幹線の乗客向けの毛布の緊急物資輸送を行った。

輸送車両：3トントラック1両

⑤ 災害時の緊急支援物資輸送に関する協会長による講演

住永協会長が講師となり、災害時の緊急支援物資輸送に関する課題と教訓について、次のとおり講演を行った。

ア 期日：平成30年8月9日（木）

場所：愛知県トラック協会中部トラック総合研修センター

対象：全国各県ト協職員

イ 期日：平成30年9月14日（金）

場所：東京ビッグサイト（JILSロジスティクスフォーラム）

対象：製造業、流通業等の経営幹部、管理者、行政機関自治体等

⑥ 熊本市からの感謝状贈呈

去る4月16日（月）熊本市役所において、熊本地震の災害支援等を行った団体等に対する感謝状贈呈式が行われ、当協会から住永協会長が出席、大西熊本市長より感謝状が贈呈された。

⑦ 自治体・行政機関等が行う防災訓練への参加

ア 熊本市主催（実働訓練）

期 日：平成30年4月15日（日）

場 所：熊本市物資拠点及び熊本市内小学校（10校）

対応者：協会事務局（3名）及び会員企業（4社）2トン車5両出動

イ 水俣市主催（台風接近による悪天候により当日中止）

- 期 日：平成30年9月9日（日）
- ウ 八代市（台風接近による悪天候により中止）  
期 日：平成30年9月29日（土）
- エ 熊本県主催（机上訓練）  
期 日：平成30年11月10日（土）  
場 所：協会執務室  
対応者：協会事務局（1名）
- オ 荒尾市主催（実働訓練）  
期 日：平成30年11月18日（日）  
場 所：荒尾市旧第5中学校跡地、岱志高校、あらおシティモール他  
対応者：協会事務局及び玉名支部事務局（計2名）2トン車2両出動

⑧ 各種災害物流研修への参加

- ア 全ト協主催  
期 日：平成30年8月8日（水）～10日（金）  
場 所：愛知県トラック協会中部トラック総合研修センター  
内 容：全ト協が主催する「緊急物資輸送担当者研修」協会職員1名を参加させ、緊急物資輸送に関する専門知識の習得を図った。  
参加者：48名
- イ 国土交通省主催  
期 日：平成30年10月2日（火）～5日（金）  
場 所：国土交通大学校柏研修センター  
内 容：国土交通省が主催する「災害物流研修」に協会職員1名を参加させ、支援物資物流に関する専門知識の習得を図った。  
参加者：42名 内訳 運輸局（5名）内閣府（1名）自治体（31名）  
トラック協会（3名）、運送事業者及び倉庫業者（2名）

⑨ 高病原性鳥インフルエンザ等の協定に係る取組み

指定地方公共機関として特定家畜伝染病のまん延防止に協力するため、熊本県が主催した高病原性鳥インフルエンザ防疫演習に参画し、初動対応の防疫資材の輸送訓練に会員事業所の協力のもと対応した。

- 期 日：平成30年8月23日（木）  
場 所：中央家畜保健衛生所及び鏡コミュニティセンター  
車 両：協会事務局（2名）、10トン車1両出動

## 2. 重点項目

(1) トラックの日のイベント（くまフェスへの出展）開催 **公益1-【1】-〈2〉**

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進等を目的としたイベントを開催するにあたり、トラックの日検討委員会を立ち上げ、検討を行い、平成30年度は、次のとおり開催した。

花畑広場を中心に2日間開催されたマンガ・アニメなどのポップカルチャーをテーマにした「くまフェス」とジョイント開催し、トラック運送業界が若者との接点を持つ意味で、来場された10代、20代の若者に対して、災害時における緊急物資輸送をはじめとする業界の社会的役割とドライバーの誇りややりがい等についてPRを行った。また、10トンラッピングトラックを広場に展示し、トラックの試乗体験や宣伝用ブースを出展し、業界の活動をPRした。また、今回は、イベントに係るラッピングトラック等のトラックデザインについて、崇城大学芸術学部とのコラボレーションにより、同大学の学生より11作品の提案を受け、選考により4作品を各種ノベルティ等に採用するなどし、若い世代との連携を図った。イベント来場者は、2日間延べ約3万人となった。

日時：平成30年12月1日（土）、2日（日）11時00分～16時00分

場所：熊本市中央区花畑広場

イベント協力：（44名）協会役員、トラックの日実行委員会、青年部会継運会、女性部会、協会事務局

内容：主な実施内容（セレモニー含む）

① 大型トラック試乗体験（11時00分～15時30分）

10トンラッピングトラック1台

試乗体験参加者オリジナルステッカー進呈

② PR用出展ブース（テント2張）（11時00分～16時00分）

ア 本部テントにて業界に関する意識アンケートの実施、ツイッターアンケートも併せて実施した。（回答者にショッパーバッグ進呈）

イ トラック協会指定の#ハッシュタグ「トラックの日」をつけて、フェイスブックやツイッター、インスタグラム等SNSで拡散（缶バッジ進呈）

ウ トラックぬりえ（粗品進呈）

エ トラック協会のパネルの展示

オ 「トララ」着ぐるみによる場内PR及び写真撮影会

③ 各種広告

ア 会場内にてサンプリング（業界PR用チラシ配布）

イ くまフェスパフレットへの広告掲載

ウ 会場内へののぼり・パネル等の掲示

エ トラックの日PR広告（リビング新聞に広告掲載）

(2) 広報誌による情報提供 **他1-4**

トラック運送事業に関する各種情報の提供や業界・協会の活動や取組みなどについて、適宜にお知らせするため、月刊広報誌「トラック広報くまもと」を発行し情報提供を行った。また、広告掲載に関する民間企業団体への希望調査を行った。

(3) メディア及びホームページ等の活用 **公益1-【1】-〈1〉**

トラック運送事業に対する一般消費者のより一層の理解促進とトラックドライバーの活躍などを理解してもらい、業界参画へとつなげるため、各種メディアなどを活用し、広報活動を行った。なお、業界PR用DVD等を作るため、会員事業所のドライバーに出演しても



らうなどし、熊本県トラック協会のオリジナルDVD及びテレビCM2本を制作した。また、前回のリニューアルから経年によって陳腐化した協会ホームページについて、スマートフォン、タブレット等利用者の利便性向上に対応するホームページへ改編を行った。

その他、トラック業界の求人転職合同説明会を開催するにあたり、来場者のPRのため、各種広報を行い積極的な周知を図った。

① テレビ

ア TKU

- ・熊本城復興協賛テレビCM放送  
平成31年 1月 1日 (火)～平成31年 1月16日 (水) まで (10本放送)
- ・飲酒運転根絶・高齢者の交通安全啓発キャンペーンCM  
平成30年12月17日 (月)～平成31年 1月27日 (日) まで (36本放送)

② ラジオ

ア RKK

- ・(公社)熊本県トラック協会ラジオCM放送  
平成30年 4月 2日 (月)～平成31年 3月29日 (金) まで (208本放送)
- ・小学生等の登下校時間帯における事故防止啓発広報CM (45本放送)  
平成30年 4月16日 (月)～平成30年 6月15日 (金) まで

イ FMK

- ・スマイルドライブキャンペーンラジオCM  
平成30年 8月 1日 (木)～平成30年10月 2日 (火) まで (10本)
- ・歩行者横断用横断旗寄贈 (50本)

ウ 熊本シティFM

- ・FM791防災コミュニティパートナー (120本)  
平成30年 4月14日 (土)～平成31年 2月26日 (火) まで
- ・こども新聞 (5月号) 無料掲載

③ 新聞・雑誌等

ア 熊本日日新聞

- ・平成30年 7月27日 (金) 掲載 県政特集号 カラー半五段
- ・平成30年12月22日 (土) 掲載 Gマーク周知PR 半七段
- ・平成31年 1月27日 (日) 掲載 求人・転職合同説明会開催 E枠
- ・平成31年 2月10日 (日) 掲載 求人・転職合同説明会開催 E枠
- ・平成31年 1月30日 (水) 掲載 WA-KURAS 企業ガイド掲載

イ 物流ニッポン

- ・平成30年 7月19日 (木) 掲載 暑中特集号
- ・平成30年11月29日 (木) 掲載 創刊50周年記念特集
- ・平成31年 1月10日 (木) 掲載 2019新年特集
- ・平成31年 2月26日 (火) 掲載 ロジスティクス最前線

ウ 輸送経済新聞

- ・平成30年 7月17日(火)掲載 夏季・環境特集
- ・平成30年 8月28日(火)掲載 創立70周年特集
- ・平成30年10月 9日(火)掲載 第22回全国トラック運送事業者大会特集
- ・平成31年 2月26日(火)掲載 日本縦断地域特集
- エ 物流ウィークリー
  - ・平成31年 1月 1日(火)掲載 元旦号
- オ くまもと経済
  - ・平成30年12月号掲載 ピックアップ広告カラー1/2ページ+記事体広告
  - ・平成31年 1月号掲載 業界展望 A4見開き2ページ
  - ・平成31年 3月号掲載 LEADERS2019 A4カラー1ページ
- カ 週刊求人案内 熊本版
  - ・平成31年1月11日号、1月18日号、1月25日号、2月1日号、2月8日号、2月15日号掲載 求人・転職合同説明会開催
- キ 週刊ゲットサポート 熊本版
  - ・平成31年1月8日号、1月15日号、1月22日号、1月29日号、2月25日号、2月12日号掲載、求人・転職合同説明会開催
- ク WEB求人サイト「あつナビ」熊本版 メインバナー広告
  - ・平成31年1月11日(金)～2月15日(金)(合計5週間掲載)
- ケ 15秒イベントPR動画 SNS (twitter) 有料広告配信
  - 求人・転職合同説明会開催
  - ・平成31年1月25日(金)～2月15日(金)
- コ 告知チラシポスティング(熊本市内近郊エリア55,000部)
  - 求人・転職合同説明会開催
  - ・平成31年2月7日(木)～8日(金)
- サ リビング熊本(交通安全キャンペーン)
  - 交通安全手帳配付(熊本市内小学生向け)
  - リビング熊本掲載名刺広告
  - ・平成30年4月14日(土)、12月15日(土)
  - リビング熊本掲載全5段広告
  - ・平成30年10月6日(土)
  - WAO! VISION(協賛告知300本放送)
  - ・平成30年4月27日(金)～平成30年5月10日(木)まで
- シ 戦国パークイベント(熊本・熊本城復興を願って)
  - ・平成31年3月9日(土)～10日(日)イベント開催
  - 熊本城応援キャンペーン協賛テレビCM30本放映

#### (4) 各種表彰関係 **他1-5**

##### ① 永年継続企業表彰

永年継続企業表彰制度の表彰を次のとおり行った。

被表彰会員企業 4社

② 無事故チャレンジ運動表彰

三者連名表彰 10 事業所、協会長表彰 114 事業所 計 124 事業所

③ 国土交通大臣表彰

被表彰者 成松 唯幸氏 (有)田島運送 代表取締役会長)

内田 光昭氏 (株)内田陸運 代表取締役)

④ 九州運輸局長表彰

ア 事業役員表彰

被表彰者	(有)川端屋運送	代表取締役	川端 満喜男氏
	(有)八代運送	代表取締役会長	山田 進一郎氏
	(有)手野運送店	代表取締役	武藤 正幸氏
	熊本西濃運輸 (株)	代表取締役会長	松村 賢造氏
	(有)郡浦運送	代表取締役	岩竹 秀直氏
	(株)九州運輸	代表取締役	北田 秀文氏
	(有)江里運送	代表取締役	江里 理 氏
	(株)共同	取締役	坂田 正信氏
	(有)江里運送	取締役	江里 富美代氏

イ 従業員部門表彰

被表彰者	熊本交通運輸 (株)	吉田 泰夫氏
	熊本交通運輸 (株)	山内 利喜氏
	熊本交通運輸 (株)	溝口 修氏
	(株)共同	坂田 圭子氏
	(株)共同	山口 正氏
	(株)共同	田添 長年氏
	(有)江里運送	平野 昭彦氏
	(株)九州運輸	甲斐 豊氏

⑤ 九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰

ア 第1回被表彰事業者 (4社) (有)有田運輸、(有)江里運送、三和工業 (有)フクワ物流 (株)

イ 第2回被表彰事業者 (3社) (有)新開貨物、東南運輸 (株)、(株)八木運送

(5) 新春賀詞交歓会の開催 **法人会計**

会員企業、荷主企業、来賓らが参集して新春賀詞交歓会を次のとおり開催した。

日 時：平成31年1月25日 (金) 18時00分～20時00分

場 所：ホテル日航熊本 5階 阿蘇

参加者数：196名

## (6) 協会事務局の強化及び業務の見直し **法人会計**

協会の業務の効率化及び会員サービスにつなげるため、コンサルタントを招へいし、基幹システム・ホームページ活用等のための打合せなどを行った。また、南九州5県トラック協会職員会議や大分・愛媛・熊本事務局業務連絡会議の他、各種団体等主催の研修会、セミナーなどに積極的に参加し、職員の資質向上・研鑽を積んだ。

## 3. 全ト協と連携して行う項目

### (1) 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現 **公益1**

#### ① 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現

要望活動については、自民党トラック輸送振興議員連盟、公明党トラック問題議員懇話会等を通じて、政府与党の国会議員に対し、積極的に陳情活動を展開した。また、日本自動車会議所など関係団体と協調して自民党自動車議員連盟政策懇談会等を通じた陳情活動も実施した。平成31年度税制改正大綱については、平成30年12月21日に閣議決定され、税制改正関連法案は平成31年3月27日に国会で成立した。

トラック運送業界に関係する主な内容は以下のとおり。

ア 車両総重量3.5トン以上の普通貨物自動車も対象となる「中小企業投資促進税制」については、適用期限が2年延長された。

イ 自動車取得税廃止後に導入される自動車税環境性能割については、平成28年度税制改正で決定した燃費基準の達成状況に応じた課税の枠組みが維持された。

ウ 自動車税における営自格差は堅持された。

エ 自動車重量税・自動車取得税のエコカー減税については、適用要件及び措置内容を見直した上で、自動車重量税は2年間、自動車取得税は6ヵ月間(=自動車取得税の廃止まで)延長された。

オ 自動車取得税のASV(先進安全自動車)特例措置については、適用期限が6ヵ月間(=自動車取得税の廃止まで)延長された。なお、自動車税環境性能割においても、適用要件及び措置内容を見直した上で2021年3月31日まで適用されることとされた。

カ 自動車税のグリーン化特例については、適用期限が2年間延長された。

キ 中小企業・協同組合等の法人税率の特例措置の延長については、適用期限が2年間延長された。

#### ② 軽油引取税の旧暫定税率の廃止等税負担の軽減

軽油引取税の旧暫定税率の廃止については、(平成21年度税制改正において軽油引取税が一般財源化された際)地球温暖化対策の観点、国・地方の苦しい財政状況により税率水準が維持することとされた経緯等を踏まえて検討すべきとされており、要望は見送られた。

### (2) 高速道路通行料金の引下げ及び割引制度の充実 **公益1**

#### ① 高速道路料金の引下げ及び割引制度の充実

ア 高速道路料金に関しては、特に、平成30年度末(平成31年3月末)で期限を迎える大口・多頻度割引最大割引率50%の継続・恒久化について、自民党トラック輸送振興議

員連盟、公明党トラック問題議員懇話会等を通じて、政府与党の国会議員に対し強力に要望活動を展開した。

その結果、平成31年2月7日に国会で成立した平成30年度第2次補正予算（平成30年12月21日閣議決定）において109億円が措置され、自動車運送事業者のETC2.0搭載車を対象に、大口・多頻度割引最大割引率50%が平成31年度末（2020年3月末）まで継続されることとなった。

イ このほか、自民党トラック輸送振興議員連盟総会（平成30年11月20日）、公明党トラック問題議員懇話会（平成30年10月31日）において、道路の積極的な活用に向けた諸施策の実現に向けて、重要物流道路の早期指定・重点整備及び特車通行許可の迅速化、高速道路ネットワークの整備推進及びミッシングリンクの解消、暫定2車線区間の4車線化、SA・PA、道の駅における駐車スペースの活用及び整備・拡充等について要望した。

ウ 国土交通省では、平成30年度に全国各地において、トラック等の利用者団体と連携した渋滞対策及び道の駅等の駐車スペースの拡張を実施した。

これにより、熊本県では、渋滞対策として、熊本市国道57号新南部交差点における右折レーンの延伸が行われたほか、駐車スペースの拡張として、大津町の道の駅「大津」における大型車駐車マスの増設が行われることとなった。

## ② ETC2.0を活用した物流対策

ア ETC2.0搭載車を対象に、高速道路からの一時退出を可能とする措置（高速道路を一時退出しても料金は高速道路を利用したままとする）について、平成30年3月に新たに全国17箇所の道の駅で実施されることとなり、全国計20箇所で実施されているが、この一時退出を可能とする措置について、「広報とらっく」やホームページ等で周知を図った。また、上記の自民党トラック輸送振興議員連盟総会、公明党トラック問題議員懇話会において、ETC2.0によるサービスの充実として、一時退出措置の拡充についても要望した。

## (3) 大規模災害発生時における緊急輸送体制の確立 **公益1-【3】**

全ト協においては、全ト協防災業務計画に基づき、緊急時における業務マニュアルの整備を進め、緊急物資輸送体制の整備を次のとおり行った。

① 各都道府県トラック協会事務局職員を対象とした緊急物資輸送研修を実施し、緊急輸送に係る基礎知識の習得、過去の災害時における被災協会の取り組み並びに各協会の緊急物資輸送体制の情報共有等、今後の緊急輸送体制の整備を図ることを目的とした研修を行った。その他、政府主催の津波防災の日情報伝達訓練や首都直下地震等に対応した災害支援物資輸送訓練、大規模地震時医療活動訓練（DMAT訓練）に参加し、政府や指定公共機関間との実働訓練や情報伝達訓練を実施した。

また、全ト協においては、香川県で発生した鳥インフルエンザの防疫資材輸送に係る車両の手配を実施した。

② 内閣府や国土交通省が開催した都道府県自治体等関係者に対する防災・災害物流研修並びに各都道府県トラック協会における防災研修会に講師を派遣し、緊急物資輸送の実態と課題

について関係者と共有を図った。

緊急輸送車両の燃料供給を確保するためトラック運送事業者に対し自家用スタンド 設置助成を行い、緊急給油のネットワーク整備を図った。

(4) 全ト協会長表彰 **他1-5**

①正しい運転明るい輸送運動表彰

(有)水本運送(熊本中支部)、(株)協栄運送(宇城支部)、菊南運輸倉庫(株)(菊池支部)

②全ト協表彰規程による表彰

事業役員 5名

従業員 25名

③優秀運転者顕章

金十字章 14名

銀十字章 72名

合計 86名

(5) 全日本トラック協会が主催する第23回全国トラック運送事業者大会に協会役員及び青年部会、女性部会、事務局ら合計26名が参加した。 **公益1**

期日：平成30年10月10日(水)

場所：香川県高松市 サンポートホール高松、JRホテルクレメント高松

〔支部の組織内化等検討特別委員会〕 法人会計

協会運営の活性化を図り、内部組織のあり方等について、検討を深めるため設置された支部の組織内化等検討特別委員会において、次のとおり支部の内部組織化等について、協議を行った。

また、各支部の業務執行状況や運営内容等を確認し、円滑に内部化を進めるため、支部連絡会議を開催し、各支部の意見をいただきながら、組織内化に向けて協議を進め、平成30年12月4日（火）第4回臨時理事会に平成31年4月1日からの実施について報告した。

委員長：下川 公一郎（副会長）

(1) 会議

- ① 会議日時：第5回 平成30年 9月 3日（月）10時00分～  
会議場所：(公社)熊本県トラック協会
- ② 会議日時：第6回 平成30年11月26日（月）13時30分～  
会議場所：(公社)熊本県トラック協会

(2) 関連する支部連絡会議の開催状況

- ① 平成30年 6月28日（木）午前10時00分～
- ② 平成30年 8月29日（水）午前10時00分～
- ③ 平成30年12月 3日（月）午前10時00分～
- ④ 平成30年12月21日（金）午前10時00分～
- ⑤ 平成31年 3月 4日（月）午前10時00分～

〔熊本県トラック協会総合センター建設特別委員会〕 公益1-【3】

協会総合センター建設特別委員会を開催するとともに、基本構想（案）の検討及び候補地の情報収集並びに会員事業者の意向調査を行った。さらに、先進施設を参考とするため、愛知県トラック協会中部トラック総合研修センターの視察等を行った。

委員長：住永 豊武（会長）、委員長代行：江富 聡（副会長）

(1) 会議

会議日時：平成30年11月22日（木）13時30分～  
会議場所：(公社)熊本県トラック協会

(2) 視察

期日：平成30年8月8日（水）～9日（木）  
場所：愛知県トラック協会中部トラック総合研修センター



〔交通・環境対策委員会〕

1. 最重点項目

(1) 交通事故防止対策の推進

① 無事故チャレンジ運動の実施 **公益2-【5】**

平成30年10月1日(月)～平成31年1月8日(火)までの100日間、社会との共生を図りながら、公共の道路を活用し、公共輸送の使命を担うトラック運送業界においては、交通事故防止対策は最重要課題の1つであることから、年末年始の輸送繁忙期の交通量が増加する時期に、関係行政機関と連携し、交通事故ゼロを目指し、交通事故防止対策を推進した。

また、参加146事業所から、表彰基準を満たした10事業所を三者連名表彰(熊本運輸支局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会長)、114事業所を協会長表彰として表彰した。(計124事業所)

② 交通事故防止大会の実施 **公益2-【5】**

年末の輸送繁忙期にかけて、事業用トラックによる交通死亡事故が増加することから、業界全体で一丸となった事故防止対策の推進を目的に、第38回熊本県トラックドライバー・コンテストの第一部トレーラ部門第一位(九州産交運輸株 三原健氏)による安全宣言を行い、その後、交通事故防止研修会を実施した。

日時：平成30年10月17日(水) 13時30分～17時00分

場所：(公社)熊本県トラック協会

参加者：75社88名

セミナー：トラック事故の実態を知る～交通ルール理解不足が大半～

講師：交通安全アドバイザー 長森 紀紘氏

③ 交通安全街頭キャンペーンの実施 **公益2-【5】**

各交通安全運動の実施に併せて、熊本県内の交通事故が多発している交差点等において、下記の日時にてトラックドライバー及び一般ドライバーに交通事故防止を啓発し、交通事故の撲滅を目指した。

ア 春の全国交通安全運動

日時：平成30年 4月 6日(金) 14時30分～15時30分

場所：保田窪北交差点

イ 秋の全国交通安全運動

日時：平成30年 9月26日(水) 15時00分～16時00分

場所：神水交差点

ウ 年末年始の交通事故防止運動

日時：平成30年12月19日(水) 16時00分～17時00分

場所：中央街交差点



④ 第38回熊本県トラックドライバー・コンテストの実施 **公益2-【5】**

運転技能と関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを醸成し、交通事故防止の推進と環境負荷の低減に寄与することを目的に第1部（全国大会選抜競技）及び第2部（県大会チャレンジ競技）の2部構成で実施した。

開催日：平成30年7月8日（日）

場 所：八代ドライビングスクール

参加者：30事業所39名

**【第1部】**

4トン部門 13名、11トン部門 8名、トレーラ部門 4名

女性部門 2名

**【第2部】**

4トン部門 1名、11トン部門 5名、ダンプ部門 6名

**【部門別優勝者】**

部 門 別	所 属	選 手 名
第1部		
4 ト ン	(株)ランテック熊本支店	森川 哲至
1 1 ト ン	南九州センコー(株)八代営業所	中村 将太
ト レ ー ラ	九州産交運輸(株)熊本コンテナセンター	三原 健
女 性	(株)マツカワ物流	西原 佳代
第2部		
4 ト ン	(有)郡浦運送	高木 僚平
1 1 ト ン	(有)青井運送	横山 茂生
ダ ンプ	味岡建設(株)錦工場	池上 修一

(敬称略)

県大会の第1部の4トン部門、11トン部門、トレーラ部門の第1位の選手は、平成30年10月27日（土）～28日（日）、自動車安全運転センター安全運転中央研修所（茨城県ひたちなか市）において開催された全国大会に出場した。（各部門の入賞者はなかった。）

⑤ 事故防止用品の作成 **公益2-【1】-〈4〉**

新入学児童に対する交通事故防止用品を各地域振興局単位の教育事務所を通じて、当該地域の支部長より、教育事務所長宛てに新入学児童の交通事故防止を目的として、平成31年2月から3月にかけて、反射巾着（18,500枚）を寄贈した。

また、事業者やトラックドライバーに対する交通事故防止の啓発を図るため、交通渋滞予想地域及び熊本県交通安全川柳標語入りカレンダーを1,550部作成し、全会員事業者に配布した。

⑥ 事業用貨物自動車の業務中における交通事故発生状況（平成30年中）

《熊本県警察本部資料》

	発生件数	死者数	負傷者数	飲酒運転
大型貨物	45 (△11)	1 (△1)	65 (△26)	0 (±0)
中型貨物	50 (+1)	1 (△2)	63 (△7)	0 (±0)
準中型貨物	25 (+13)	0 (±0)	31 (+13)	0 (±0)
普通貨物	1 (△7)	0 (±0)	1 (△11)	0 (±0)
合計	121 (△4)	2 (△3)	160 (△31)	0 (±0)

( )内は、前年対比

【目標】

- 発生件数 100件以下
- 死者数 0人
- 負傷者数 150人以下
- 飲酒運転 0件

※目標に対し、発生件数及び死者数、負傷者数ともに目標を上回る結果となった。

⑦ TV会議システムを利用した「特殊車両通行許可制度講習会」 **公益1-【5】-キ)**

特殊車両通行許可制度において、大型・特殊車両等に関する車両制限令の改正及び高速道路割引料金に関する大口・多頻度割引の停止措置の見直し等に関する周知を行うため、TV会議システムを利用した講習会を実施した。

日時：平成30年4月10日（火）13時30分～16時00分

場所：(公社)熊本県トラック協会

参加者：35社42名

講師：(公社)全日本トラック協会輸送事業部部長 礎 司郎氏

(2) 安全教育の普及促進

① ドライバー等安全教育訓練助成事業の周知 **公益2-【2】-〈6〉**

全ト協が助成するトラックドライバー及び安全運転管理者等を対象とした安全運転研修所における安全教育訓練について、広報紙及びホームページ等で普及促進を図った。

(6社9名参加)

② 安全運転等研修会の実施 **公益2-【2】-〈6〉**

安全及び事故防止に関する知識及び省燃費運転による運転技能向上等を目的にドライバー等を対象とした研修会を八代ドライビングスクール、大矢野自動車学校にて開催した。

また、「貨物自動車運送事業者が運転者に対して行う指導及び監督の指針」に基づく、初任運転者研修会を福岡県おんが自動車学校、八代ドライビングスクールにおいて次の

とおりに開催した。

ア 福岡県おんが自動車学校

開催期間及び参加人員（1泊2日 一般・初任運転者、指導監督者研修）

平成30年 6月23日(土)～24日(日)（3社4名）

平成30年 7月21日(土)～22日(日)（2社2名）

平成30年 7月28日(土)～29日(日)（2社3名）

平成30年 8月25日(土)～26日(日)（2社3名）

平成30年 9月15日(土)～16日(日)（4社6名）

平成30年10月13日(土)～14日(日)（1社1名）

平成30年11月 3日(土)～ 4日(日)（1社1名）

イ 八代ドライビングスクール

開催期間及び参加人員（2日 一般・初任運転者、指導監督者研修）

平成30年 6月 2日(土)～ 3日(日)（4社6名）

平成30年 8月 4日(土)～ 5日(日)（7社10名）

開催期間及び参加人員（1日 省燃費等・安全運転研修）

平成30年 6月17日(日)（10社14名）

平成30年 7月22日(日)（ 7社10名）

平成30年10月14日(日)（ 6社10名）

ウ 大矢野自動車学校

開催期間及び参加人員（1日 省燃費等・安全運転研修）

平成30年5月27日(日)（7社11名）

平成30年6月 3日(日)（7社11名）

平成30年6月10日(日)（6社 9名）

平成30年6月24日(日)（9社12名）

平成30年7月 1日(日)（6社10名）

合計 84社123名参加

③ 交通事故統計の情報提供 **公益2-【1】-〈1〉**

交通事故防止の意識向上及び安全運転の啓発並びに運転者に対する指導・監督の際の資料に活用できるよう事業用トラックの交通事故統計（熊本県警察資料）を「トラック広報くまもと」に掲載した。

④ 各季における交通安全運動の実施

トラック輸送の安全確保と安心・安全で信頼できる輸送体制の確立を図るため、各季交通安全キャンペーンを推進し、各交通安全運動への積極的な参加を周知徹底するため、交通安全懸垂幕の掲示、トラック広報熊本への記事掲載を行った。

ア 春の全国交通安全運動

平成30年 4月 6日（金）～4月15日（日）

イ 秋の全国交通安全運動

平成30年 9月21日（金）～9月30日（日）

- ウ 正しい運転・明るい輸送運動  
平成30年11月16日(金)～平成31年1月10日(木)
- エ 年末年始の輸送等安全総点検  
平成30年12月10日(月)～平成31年1月10日(木)
- オ 年末年始の交通事故防止運動  
平成30年12月21日(金)～平成31年1月 3日(木)

## 2. 重点項目

### (1) 環境クリーンキャンペーンの実施 **公益4-【1】-ア**

「トラックの日」の関連事業として、10月を「環境月間」と定め、10月13日(土)を「実施統一の日」として、各支部の会員事業所のドライバーやその家族、地元地域の小中学生、協会役員等により、10月12日(金)～10月21日(日)にかけて、日頃利用している道路に感謝を込めて、幹線道路やその周辺地域において清掃活動が行われた。(12支部757名参加)。

### (2) 「トラックの森」づくり育林事業 **公益4-【1】-ウ**

トラック運送業界の社会貢献事業の一環として、地域への植樹を通じた地球温暖化防止対策として、熊本市民病院(熊本市東区東町)に緑化推進事業として、樹木等を寄贈した。

また、平成26年1月に旧弓ヶ浜跡地(上天草市大矢野町)にサクラ、モミジ、ツツジ等の植樹後に繁茂した草の下草刈りを「トラックの日」の関連事業育林事業の育林事業として、平成30年10月31日(木)に実施した。

### (3) 各種助成事業

交付金等助成事業の活用を促進するため、熊本県トラック協会の助成事業の目的、申請方法等の説明会を実施した。

日 時：平成30年6月20日(水) 10時30分～12時00分

場 所：(公社)熊本県トラック協会

参加者：32社37名

- ① ドライブレコーダー機器導入促進助成 **公益2-【2】-(4)**  
75社 212台 6,200千円
- ② ASV装置導入促進助成 **公益2-【2】-(3)**  
72社 126台 3,706千円
- ③ 安全装置等導入促進助成 **公益2-【2】-(2)**  
84社 159台 4,748千円
- ④ アルコール検知器助成 **公益2-【2】-(1)**  
22社 37台 595千円
- ⑤ 低公害車導入促進助成(新長期車、CNG車、ハイブリッド車) **公益4-【2】-(1)**  
94社 164台 8,380千円
- ⑥ グリーン経営認証取得助成 **公益4-【2】-(2)**  
13事業所 510千円

- ⑦ ポスト新長期車両に対する融資推薦 **公益4-【3】**  
環境対策を推薦するためポスト新長期規制適合車導入促進に係る融資の推薦を行うとともに、その利子の補給を行った。(推薦件数15件)

(4) アドバイザー制度の導入 **他1**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員からの要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

- ① 法律アドバイザー 北里敏明氏 (弁護士)、江越和信氏 (弁護士)  
河津 和明氏 (顧問弁護士)
- ② 経営・労務アドバイザー 株近代経営研究所  
株瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏  
株プロデキューブ 高柳 勝二氏

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 事業用トラックによる交通事故実態の把握と要因分析 **公益2-【1】**

「トラック事業における総合安全プラン2020」目標達成に向けた事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を車両台数一万台当たり「1.5」以下とし、都道府県別(車籍別)の共通目標とし、事故防止の推進を図った。

また、車籍別、発生地域別、車両区分別、道路区分別等詳細に交通事故実態を分析・把握し、有効な事故防止対策を全ト協と連携し実施した。

(2) 駐車問題見直しへの対応 **公益1-【5】**

警察庁における働き方改革の「直ちに取り組む施策」の一つとして掲げられている「貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直し」について、輸送効率の向上及び労働環境の改善や過労運転防止の観点から、全会員に対して駐車規制見直し箇所の要望調査及び現地確認による情報収集を行い、平成30年7月10日に熊本県警察本部交通部長に「貨物集配中の車両に係る駐車規制見直しに関する要望書」の提出を行った。

〔経営改善委員会〕

1. 最重点項目

(1) 物流効率化促進による経営基盤強化対策の推進 **公益1-【5】-〈1〉-ウ**

荷主企業や物流関係企業の経営者等と会員事業者が、トラック運送業界を取り巻く環境や当面する諸課題等を共有し、業界における長時間労働・低賃金の改善に向けた理解を深めるとともに、各企業と県内産業全体の一層の発展を図ることを目的とした荷主企業と物流事業者のための経営セミナーを開催した。

開催日時：平成31年1月25日（金）15時00分～17時40分

開催場所：ホテル日航熊本 5階 阿蘇BC

参加者：123名（会員93名、荷主企業等30名）

講演Ⅰ：「安全と健康のバランス経営を目指して

～働き方改革を実現するための4つの改革事例～」

講師 株式会社プロデキューブ

代表取締役 高柳 勝二氏

講演Ⅱ：「物流コスト調査の最新調査結果と物流コスト適正化への動き」

講師 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

JILS総合研究所ロジスティクス環境推進センター

センター長 北條 英氏

(2) 運送原価管理に基づく適正運賃・料金收受の推進 **公益1-【5】-〈1〉-カ**

① 標準貨物自動車運送約款を踏まえた適正な運賃・料金收受の推進

荷主企業に対して、トラック運送業界の窮状をご理解いただき、経営基盤強化の実現のため、会員事業者名と協会長名の連名の適正運賃收受の協力文書を作成し、希望する会員事業者に対する配布を行った。（40社263枚）

また、燃料サーチャージに関する届出方法等の相談業務に関する窓口を引き続き設置した。

② 原価意識強化セミナーの開催

トラック運送事業が持続的かつ収益力のある産業として発展させていくため、輸送特性・業態別の原価水準に見合った運賃・料金收受に向けた取り組みとして、運送事業における経営全体の改善や取引先との運賃交渉力強化に向けた内容を取り入れ、収益力の向上に焦点をあてたセミナーを開催した。

日時：平成30年10月11日（木）13時30分～17時00分

場所：（公社）熊本県トラック協会

参加者：28社32名

内容：原価計算の実践（運行ルート単位、取引先単位の原価計算、改正標準運送約款の対応）、原価計算結果の活用（改正標準運送約款を踏まえた交渉事例の方法などを紹介）

講師：(株)近代経営システム研究所 代表取締役 森高 弘純氏



## 2. 重点項目

### (1) 事業後継者等の人材育成 **公益1-【5】-〈1〉-イ**

将来のトラック業界を担う優秀な人材を育成するため、専門の講師を招聘し、講習会を開催した。(延べ40名が参加)

#### ① これからの運送業に必要な人材育成セミナー

開催日：平成30年9月6日(木)、13日(木)、21日(金) 延べ3日間実施

開催場所：(公社)熊本県トラック協会

講習テーマ：「成功の影には当たり前の徹底①～③」

講師：株式会社セレン 代表取締役 井上 幸 氏

また、青年部会における研修会の実施や社会貢献事業の取組み等に対する支援を行った。

### **公益1-【5】-〈1〉-ク**

#### ② 青年部会セミナー 平成30年4月21日(土) ザ・ニューホテル熊本

「トラック運送業界の魅力が伝わる男のマナー

～荷物を運ぶからお客様に喜ばれるへ～」(講師同上)

### (2) 中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナーの開催 **公益1-【5】-〈1〉-キ**

トラック運送業界の人材不足対策の一環として、情報化支援による業務の効率化及び輸送品質の向上を推進するため、導入支援希望の高い機器類を中心とした活用事例等のセミナーを行った。(受講者19社21名)

開催日：平成30年11月2日(金)

開催場所：(公社)熊本県トラック協会

### (3) 金融対策等の支援 **他1-2**

会員事業者の近代化合理化及び環境対策を推進するため、近代化基金による融資の推薦を行うとともにその利子の補給を行った。(推薦件数7件)

### (4) 自営転換の推進 **公益1-【5】-〈1〉-ア**

熊ト協ホームページに掲載し、営業用トラックによる輸送効率化を促すため、会員事業者の企業情報などの提供を行い、自家用トラックでの輸送を行っている荷主企業等に対して自営転換の推進を図った。(登録事業者数334社)

### (5) アドバイザー制度の導入 **他1**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員事業者からの相談・要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

#### ① 法律アドバイザー・・・・・・・・北里敏明氏(弁護士)

江越和信氏(弁護士)

河津和明氏(顧問弁護士)

② 経営・労務アドバイザー・・・(株)近代経営研究所

(株)瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏

(株)プロデキューブ 高柳 勝二氏

(6) 事業報告書及び事業実績報告書作成要領講習会の開催 **公益1-【5】-〈1〉-ア**

貨物運送事業者に提出が義務付けられている事業報告書及び事業実績報告書の作成要領等について、講習会を開催し提出率の向上を図った。

開催日時：平成30年6月20日（水）13時00分～15時00分

開催場所：(公社) 熊本県トラック協会

参加者：15社16名

### 3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 燃料価格変動対策 **公益1**

燃料サーチャージ導入や価格転嫁を積極的に促進するため、全ト協や行政機関等と連携を図り、燃料サーチャージガイドライン及び下請・荷主適正取引推進ガイドラインの周知を行った。

(2) 経営分析及び個別企業診断等の活用 **他1**

中小トラック運送事業者の経営実態の把握と個々の経営改善への取り組みに資するため、全ト協と連携し経営分析報告書の策定及び個別企業診断の積極的な活用を周知し、利用促進を図った。(診断件数15件)

(3) 自家用燃料供給施設整備支援助成事業 **公益1-【3】**

全ト協と連携し、運送事業者や協同組合が燃料の安定的な確保を目的に導入する自家用燃料供給施設に対する助成を行うとともに、助成を受けた供給施設の大規模災害時の際の緊急輸送時における燃料供給体制の整備を推進した。(助成件数2社)

(4) 中小企業大学校の講座受講促進 **他1-1**

中小企業基盤整備機構が運営する中小企業大学校の講座受講促進制度について、トラック広報熊本やホームページ等を活用して周知を行った。(助成件数2社8名)

(5) 中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等にかかる実態調査 **他1**

信用保険法に基づく業種指定を受けるために、トラック事業者の輸送量等を全ト協と連携し調査を行った。(21社、年4回実施)

(6) トラック運送業の生産性向上促進事業 **公益1**

貨物自動車運送事業の経営の構造的な改善を図ることを目的に平成30年度国土交通省補正予算により実施された「テールゲートリフターの導入に対する補助事業」の執行団体である(公社)全日本トラック協会と連携し、補助金申請の受付を実施した。

① テールゲートリフター導入に対する補助

受付期間：平成31年2月25日（月）～3月12日（火）



〔適正化事業委員会〕

1. 最重点項目

(1) 適正化事業の推進による法令遵守の徹底

① 巡回指導の効果的な推進 **公益3-【2】**

全国実施機関が示す事業活動指針に基づき、新規事業者、悪質事業者、小規模事業者及び巡回指導の結果等を踏まえ、優先度に応じて巡回指導を行った。

また、事業者の評価が厳正・公平に行われるよう適正化事業に関する事業活動を効果的に推進した。

② 特別巡回指導による法令遵守の徹底 **公益3-【2】**

拘束時間や連続運転などの改善基準告示違反による指導要請については、事業者や運行管理者等に対して、法令遵守の徹底と早期改善に向けた指導を行った。

③ 標準貨物自動車運送約款等の改正に伴う変更届出等の届出状況

**公益1-【5】-〈1〉-(カ)**

平成29年11月4日より、トラック運送事業における適正な運賃・料金の収受に向け、標準貨物自動車運送約款が改正・施行された事に伴い、未届出事業者に対する早期手続きの促進を図った。

届出の必要な会員事業者数：606事業者

届出事業者数合計：583事業者 提出率：96.2%

(内訳)

新運送約款に係る変更届出事業者：580事業者

他約款使用に係る認可届出事業者：3事業者

【巡回指導実績表】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実績数	34	31	41	27	30	56	32	36	27	28	15	20	377
内訳	既存 (0)	28 (0)	40 (0)	24 (2)	29 (2)	54 (31)	29 (0)	33 (0)	24 (0)	25 (0)	11 (1)	19 (0)	349 (36)
	新規	1	3	1	3	1	2	3	3	3	4	1	28

※ 表中の( )は特別巡回指導及び霊柩個別指導(9月分)で内数。

(2) 安全性評価事業(Gマーク制度)の積極的な推進及び普及促進策の実施 **公益3-【1】**

① 安全性優良事業所数及び認定率

平成30年度の安全性評価事業へ、100事業所から申請があり、新規28業所、初回更新16事業所、2回目更新28事業所、3回更新9事業所、4回目更新15事業所の合計96事業所が認定を受けた。(熊本県の認定率29.9%)

② 安全性優良事業所の拡大及び認定取得率向上対策

巡回指導時に総合評価が良好だった事業所に評価事業の申請をするよう説明するほか、次の説明会などを開催し、取得事業所の拡大及び認定取得率の向上を図った。

ア 平成30年4月24日(火) 安全性優良事業説明会

イ 平成30年5月24日(木) 安全性評価事業作成要領説明会

ウ 平成30年6月25日(月)～29日(金) 申請書類の事前確認

③ 安全性優良事業所のインセンティブ(県ト協独自)

ア 夜間従事者に対する2回目の健康診断料の一部助成 78件 1,670名 1,670千円

イ 認定事業所の新聞掲載 平成30年12月22日(土) 熊本日日新聞朝刊

ウ Gマーク認定事業所へののぼり旗の配布 新規 28事業者 84枚

④ 安全性優良事業所表彰

安全性優良事業所の認定を連続して10年以上受けており、表彰要件に該当する事業所に対して、九州運輸局長表彰及び熊本運輸支局長表彰が受賞された。

【年度別表彰事業所数】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
九州運輸局長表彰	0	0	1	3	2	6
熊本運輸支局長表彰	1	14	4	1	6	26

① 平成30年10月25日(木) 熊本運輸支局長表彰

② 平成30年10月29日(月) 九州運輸局長表彰

(3) 行政処分等基準の一部改正に係る会員事業者への説明会 **公益1-【5】-〈1〉-(キ)**

平成30年7月1日より、トラック運送事業における過労防止関連違反に係る行政処分の処分量定及び使用停止車両割合が引き上げられた事に伴い、ドライバーの過労防止対策の徹底を図るための説明会等を行った。

① 行政処分等基準の一部改正に係る支部説明会

ア 鹿本支部	開催日時：平成30年5月16日(水)	10時～
	開催場所：植木文化センター視聴覚室	<u>参加者数31名</u>
イ 人吉球磨支部	開催日時：平成30年5月18日(金)	14時～
	開催場所：アンジェリーク平安	<u>参加者数20名</u>
ウ 熊本南支部	開催日時：平成30年5月22日(火)	17時～
	開催場所：ザ・ニューホテル熊本	<u>参加者数20名</u>
エ 熊本東支部	開催日時：平成30年5月29日(火)	14時～
	開催場所：(公社)熊本県トラック協会	<u>参加者数28名</u>
オ 熊本中支部	開催日時：平成30年6月5日(火)	18時～
	開催場所：輸送団地組合会議室	<u>参加者数34名</u>
カ 菊池支部	開催日時：平成30年6月8日(金)	16時～
	開催場所：菊池笹乃家	<u>参加者数52名</u>

キ 熊本北支部	開催日時：平成30年6月12日（火） 開催場所：(公社)熊本県トラック協会	10時30分～ <u>参加者数11名</u>
ク 玉名支部	開催日時：平成30年6月19日（火） 開催場所：玉名市民会館	10時30分～ <u>参加者数40名</u>
ケ 城南支部	開催日時：平成30年6月22日（金） 開催場所：八代ハーモニーホール	18時～ <u>参加者数74名</u>
コ 協会主催	開催日時：平成30年6月25日（月） 開催場所：(公社)熊本県トラック協会	13時30分～ <u>参加者数65名</u>
サ 天草支部	開催日時：平成30年7月20日（金） 開催場所：天草支部会議室	15時～ <u>参加者数38名</u>
シ 阿蘇支部	開催日時：平成30年7月24日（火） 開催場所：藤屋観光	14時～ <u>参加者数16名</u>

(4) 初任運転者等に対する安全運転講習の実施 **公益2-【3】**

専門の外部研修期間等と連携し、会員事業所における初任運転者等に対する指導義務教育における安全運転講習を実施した。

- ① ドライビングアカデミーONGA (受講者数 20名)
- ② 八代ドライビングスクール (受講者数 16名)
- ③ 大矢野自動車学校 (受講者数 53名)

## 2. 重点項目

(1) 運行管理者試験対策 **公益1-【5】**

会員事業者の運行管理者試験受験者の合格率向上を図るため、試験対策に向け専門の講師を招聘し、運行管理者対策勉強会を開催した。

また、過去の試験問題などを出題した模擬試験会を開催し、更なる合格率アップを図った。

**【運行管理者試験対策勉強会】**

- ① 開催日時：平成30年7月30日(月)(受講者70名)  
開催場所：グランメッセ熊本 講師：八代ドライビングスクール専任講師
- ② 開催日時：平成30年8月10日(金)(受講者63名)  
開催場所：グランメッセ熊本 講師：八代ドライビングスクール専任講師
- ③ 開催日時：平成30年8月21日(火)(受講者100名)  
開催場所：グランメッセ熊本 講師：八代ドライビングスクール専任講師
- ④ 開催日時：平成31年1月29日(火)～30日(水)(受講者65名)  
開催場所：グランメッセ熊本 講師：八代ドライビングスクール専任講師
- ⑤ 開催日時：平成31年2月9日(土)(受講者101名)  
開催場所：グランメッセ熊本 講師：八代ドライビングスクール専任講師

**【運行管理者試験模擬試験会】**

- ① 開催日時：平成30年8月8日(水)(受講者26名)  
開催場所：(公社)熊本県トラック協会

- ② 開催日時：平成30年8月20日(月) (受講者59名)  
開催場所：(公社)熊本県トラック協会
- ③ 開催日時：平成31年2月15日(金) (受講者63名)  
開催場所：(公社)熊本県トラック協会
- ④ 開催日時：平成31年2月26日(火) (受講者81名)  
開催場所：(公社)熊本県トラック協会

【運行管理者試験結果】

区分	試験実施日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第1回	8月26日	488	447	131	29.3% (全国順位 11位)
第2回	3月 3日	462	421	140	33.3% (全国順位 19位)
合計		950	868	271	

(2) 運行管理者一般講習及び整備管理者研修費の受講料助成 **公益2-【2】**

輸送の安全確保と車両管理体制の充実を図り、会員事業者の安定した事業運営及び運行管理等に資するため、運行管理者及び整備管理者の選任者に対し、2年に1回の受講義務のある研修費用の助成を行った。

運行管理者一般講習 受講者数 823名  
整備管理者選任後研修 受講者数 531名

(3) 熊本県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催 **公益3**

適正化事業実施機関を中立性及び透明性をもって推進するため、学識経験者や荷主、マスコミ、消費者団体などで構成する評議委員会を開催し、貨物自動車運送事業法第39条に定める地方適正化事業に関して外部からの提言を受け、公正かつ着実な運営の推進を図った。

- ・ 平成30年度第1回 平成30年10月 3日(水) 県ト協
- ・ 平成30年度第2回 平成31年 2月27日(水) 県ト協

(4) 過積載防止対策 **公益2-【1】-<3>**

「過積載絶滅運動月間(10月1日～31日)」には、関係行政機関との連携を図りながら、次の対策を実施した。

① 街頭キャンペーン及び取締り参加(3回)

運転者に運動のチラシ等を配布して啓発活動を行った。

- ア 平成30年10月 1日(月) 熊本河川国道事務所 八代維持出張所
- イ 平成30年10月10日(水) 人吉警察署
- ウ 平成30年10月12日(金) 四方寄計量所

【過積載運行に対する行政処分件数(車両の使用停止)】

管内 \ 年度	平成28年	平成29年	平成30年
九州運輸局管内	7	7	4
熊本運輸支局管内	0	3	0

② ポスターを作成して事業者や荷主企業及び関係業界等に約1,300枚配布し、過積載防止に対する理解と協力を求めるため周知を図った。

(5) 苦情処理への適正・迅速な対応 **公益3-【3】**

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対して、適正・迅速に対応し解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運転マナー	4	4	1	4	2	2	0	2	2	1	4	2	28
労働関係	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	1	2	5	4	1	1	1	6	1	3	3	1	29
合計	6	7	6	9	3	3	1	8	3	4	7	3	60

(6) 社会保険等未加入事業者への対応 **公益3-【2】**

社会保険等未加入事業者については、国自貨大86号の2「地方貨物自動車運送適正化事業実施機関からの悪質性の高い営業所に係る巡回指導結果の報告等の強化について」に基づき、巡回指導時に未加入が確認された場合（一部未加入を含む）、定期報告事案として熊本運輸支局へ報告を行った。（計9回 19事業所）

(7) 可搬式適性診断機器の利用促進 **公益2-【1】-<2>**

熊ト協及び各支部にて貸出を行っている可搬式適性診断機器の活用を周知することにより、会員事業者の運転者に対する指導・監督の支援を行い、事故防止対策の促進とGマーク認定取得の拡大を図った。

**【貸出状況】**

	上半期（4月～9月）	下半期（10月～3月）	全期（4月～3月）
平成30年度	89事業者 1,796名	59事業者 1,106名	148事業者 2,902名
平成29年度	66事業者 1,601名	79事業者 1,549名	145事業者 3,150名

(8) 安全対策の励行に対する啓発 **公益2-【1】-(1)**

台風などの気象災害などドライバーの安全運行対策励行のために、「適正化事業課だより」（緊急通知）などの文書を発出し、会員事業者に対する啓発活動を実施した。

なお、会員事業者には、「災害だより」11件、「適正化だより」6件（計17件）の文書を発出した。

### 3. 全ト協と連携して行う項目

#### (1) 運輸安全マネジメントの普及促進 **公益2-【1】**

交通安全及び事故防止に関する安全性の向上を図り、企業全体に安全意識を浸透させることを目的に、巡回指導時に運輸安全マネジメントに関するパンフレットの配付や安全性評価事業に関する説明会等を通し、普及促進に努めた。

#### (2) 適正化事業指導員に係る資質の向上 **公益3**

適正化事業実施体制の強化（人員等）を図るとともに、全ト協及び九ト協主催の適正化事業指導員研修及び小規模研修会に参加し、適正化事業指導員としての能力向上と各県との適否判定の統一化を図った。

- ① 適正化事業指導員全国研修(初級研修)  
平成30年4月25日(水)～26日(木)
- ② 小規模グループ適正化事業指導員研修  
平成30年8月30日(木)～31日(金)
- ③ 適正化事業指導員全国研修(専門研修)  
平成30年9月6日(木)～7日(金)
- ④ 適正化事業指導員全国研修(特別研修)  
平成30年11月15日(木)～16日(金)
- ⑤ 九州・沖縄ブロック適正化事業指導員研修会  
平成30年11月28日(水)～29日(木)

#### (3) 引越事業者優良認定制度及び消費者サービス向上の推進 **公益3-【3】**

引越運送業務における実務担当者向けの引越管理者講習を開催し、実務担当者の資質の向上に努めるとともに、引越事業者優良認定制度の取得を促進し、一般消費者保護及び当業界のイメージアップを図った。

- ① 引越基本講習  
日 時：平成30年6月6日(水) 10時～16時  
場 所：(公社)熊本県トラック協会  
参加者：6名
- ② 引越管理者講習  
日 時：平成30年6月7日(木) 10時～16時  
場 所：(公社)熊本県トラック協会  
参加者：9名
- ③ 引越事業者優良認定制度  
消費者に安全・安心な引越サービスを提供する事業者の情報を提供し、品質の向上を図るため引越事業者等を客観的に評価する「引越事業者優良認定制度（平成26年度創設）」の推進を図った。
- ④ 標準引越運送約款改正に伴うTV会議説明会  
日 時：平成30年4月19日(木) 13時30分～  
場 所：(公社)熊本県トラック協会



参加者：9事業者11名

平成30年度 引越事業者優良認定制度に係る認定状況

	熊本県	全国
平成30年度	4事業者 (4事業所)	68事業者 (143事業所)
認定数合計	15事業者 (25事業所)	323事業者 (1,837事業所)

(4) 引越輸送等に係る相談業務体制の充実 **公益3-【3】**

消費者保護対策として、熊本運輸支局、消費生活センターなどの関係機関と連携し、引越輸送等に係る会員事業所と一般消費者間のトラブル防止を図った。

なお、引越関係資料の「かしこい引越」、「標準引越運送約款ポイント」のパンフレット及び「引越安心マーク」のチラシを関係団体等（特定非営利活動法人熊本消費者協会、熊本県消費生活センター、熊本市消費生活センター）へ配付し、協力依頼した。

[労働対策委員会]

1. 最重点項目

(1) 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の適確な運営

公益1－【2】－〈1〉

熊本運輸支局及び熊本労働局と共同により、学識経験者、荷主企業、運送業者、関係団体等で構成される地方協議会で、運送業界の取引環境と労働時間の改善及び生産性の向上を図ることを目的として、次の会議等を行った。

また、昨年度までのパイロット事業の実証実験の結果を基に、全ト協作成の「長時間労働改善ガイドライン」を広報誌に同封し、全会員に配布した。

① 熊本県地方協議会

ア 第9回熊本県地方協議会

開催日時：平成30年8月27日（月）13時30分～

開催場所：(公社)熊本県トラック協会

イ 第10回熊本県地方協議会

開催日時：平成31年2月21日（木）13時30分～

開催場所：(公社)熊本県トラック協会

(2) 労働力確保対策の推進及び労務管理講習会の開催

① トラック運送業界への求人転職合同説明会の開催 公益1－【2】－〈1〉

開催日時：平成31年2月16日（土）12時00分～16時00分

開催場所：グランメッセ熊本 2階コンベンションホール

出展企業：31社

来場者：124名

後援：熊本労働局、ハローワーク熊本、熊本運輸支局、熊本県

※トラック運送業界への求人転職合同説明会参加事業者への事前説明会

開催日時：平成31年1月17日（木）10：30～

開催場所：(公社)熊本県トラック協会

参加数：22事業者

② 物流出前授業等の開催 公益1－【2】－〈1〉

青年部会継運会の協力のもと、主に高校生や大学生を対象とし、トラック業界への理解を深め、若年労働者の育成や運送業界の社会的地位の向上を目的とした出前授業を実施した。

ア 九州学院高等学校

開催日時：平成30年6月5日（火）15時40分～16時30分

開催場所：九州学院高等学校（生徒80名、教諭3名）

イ 松橋高等学校

開催日時：平成30年6月18日（月）16時00分～17時00分

開催場所：松橋高等学校（生徒7名、教諭2名）



- ウ 開新高等学校  
開催日時：平成30年6月28日（木）13時30分～14時20分  
開催場所：開新高等学校（生徒39名、教諭1名）
- エ 熊本学園大学  
開催日時：平成30年7月10日（火）10時40分～11時40分  
開催場所：熊本学園大学（生徒185名、教諭3名）
- オ 自衛隊若年退職者  
開催日時：平成30年7月25日（水）10時30分～11時30分  
開催場所：陸上自衛隊北熊本駐屯地（任期制隊員30名）
- カ 御船高等学校  
開催日時：平成31年2月26日（火）14時50分～15時40分  
開催場所：御船高等学校（生徒8名、教諭1名）

③ 平成30年度くまもとお仕事探検フェアへの出展 **公益1-【2】-〈1〉**

労働対策委員及び青年部会継連会の協力のもと、業界PRが可能なおしごと探検フェアへの出店により、高校生などの次世代を担う若年労働者層に対し、トラック運送業界の社会的役割を積極的にPRし、職業としての魅力をアピールするほか、消費者に社会的重要性を周知し、社会的地位の向上を図った。

開催日時：平成30年12月12日（水）午前10時00分～午後4時00分

開催場所：グランメッセ熊本 展示ホール

参加者：約4,200名

④ 過労死等防止対策の推進

ア 過労死等防止・健康起因事故防止対策セミナー **公益1-【5】**

ドライバーの健康に起因する事故防止や、改善基準告示をはじめとした労働関係法令の遵守と労働災害の防止を図るためのセミナーを、全日本トラック協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会熊本県支部、(独)労働者健康安全機構熊本産業保健総合支援センターとの共催で開催した。また、ドライバーの健康管理の重要性の啓発を図るため、日貨協連の協力のもと、血圧測定の実演を行った。

開催日時：平成30年9月7日（金）13時30分～16時30分

開催場所：(株)熊本県自動車会館

参加者：105名

講演Ⅰ：「過労死等の実態」

講師：陸災防安全管理士 堀野 弘志氏

講演Ⅱ：「過労死等防止計画について」

講師：全ト協交通・環境部付部長 大西 政弘氏

講演Ⅲ：「ドライバーの健康管理」

講師：産保センター相談員 産業医 野波 善郎氏

講演Ⅳ：「重大な労働災害の防止」

講師：熊本労働基準監督署 安全衛生課長 吉川 祐基氏

## イ 人材確保セミナー **公益1－【5】**

若年者、女性、高齢者の採用等、少子高齢化に対応した労働力確保対策を推進するためのセミナーを開催した。

開催日時：平成31年1月17日（木）13時30分～17時00分

開催場所：(公社) 熊本県トラック協会

カリキュラム内容：「人材の不足時代における運転者人材の実態」

「運転者人材等の採用」、「新卒者・女性・高齢者の雇用促進」

「人材が定着するための職場環境の整備」

講師：株式会社コヤマ経営 代表取締役 小山 雅敬氏

参加者：35名

## (3) 大型・中型・準中型・けん引免許取得助成 **公益1－【2】－〈1〉**

各運転免許取得に係る費用に対する助成を行うことにより、若年ドライバーの確保及びドライバー不足の解消を図った。

また、会員事業者に在籍している運転者の他、免許取得後に会員事業者に入社する一般の運転者を対象に、大型・中型・準中型免許・けん引免許の取得費用の一部を助成し、雇用の安定化を図った。

助成件数	181名	合計10,839千円	(合計人数は重複を除く)
(内訳) 大型	127名	8,859千円	
中型	18名	900千円	
準中型	8名	240千円	
限定解除	4名	120千円	
けん引	24名	720千円	

## 2. 重点項目

### (1) 健康診断料の助成 **公益2－【2】－〈12〉**

運転中におけるドライバーの突発的な運転不能障害を引き起こす可能性が高い疾患を予防するため、定期健康診断の受診率の向上と有所見率の低下に向け、会員事業所に勤務するドライバーを対象に生活習慣病予防健診、一般健診及び突発性運転不能障害疾患検査の助成を行った。

なお、深夜業務等を行っている安全性評価事業認定事業所については、インセンティブとして、夜間に従事するドライバーについては、2回目の健康診断料の一部を助成した。

助成件数	9,553名	合計17,718,920円
(内訳) 定期健康診断	7,787名	15,568,920円
Gマークインセンティブ助成	1,670名	1,670,000円
突発性運転不能障害疾患検査助成	96名	480,000円

### (2) インフルエンザ予防対策 **公益1－【2】－〈2〉**

トラック事業者における社員の感染防止、社内（社員間）での感染拡大の防止に努めることで、新型インフルエンザの感染防止に取り組みことを目的にアルコール手指消毒液を会員

事業者配布するとともに、県と連携し平成30年度新型インフルエンザ等対策政府訓練の机上訓練への参加や、新型インフルエンザ合同会議に出席した。

- ① アルコール手指消毒液 414事業者 計635個 832千円
- ② 平成30年度新型インフルエンザ等対策政府訓練と連携した訓練  
ア 第1回 開催日：平成30年11月9日（金）  
イ 第2回 開催日：平成30年11月12日（月）
- ③ 新型インフルエンザ対策協議会及び指定地方公共機関・感染症指定医療機関合同会議  
開催日時：平成30年12月26日（水）午後2時00分～  
開催場所：ホテル熊本テルサ

### 3. 全ト協と連携して行った項目

- (1) 長時間労働是正を図るため、生産性の向上や取引環境の改善等「働き方改革」の実現に向けた対策の推進 **公益1－【5】**

「働き方改革の実現に向けたアクションプラン」について、国土交通省や全ト協と連携し、セミナー等を開催して、長時間労働の是正などに関する目標や働き方改の実現に向けて取組事項など、アクションプランの内容について業界内へ普及を進め長時間労働是正を図った。

- ① トラック運送業界の働き方改革実現に向けたアクションプラン等周知セミナー  
開催日：平成31年3月6日（水）  
開催場所：(公社)熊本県トラック協会  
参加者：58名

- (2) 過労死予防対策の推進 **公益1－【5】**

平成29年度に全ト協が策定した「過労死など防止計画」の具体的な行動計画に基づき、過労死等防止対策を推進した。

また、「過労死等防止対策白書」（厚生労働省発行）に基づいて、全ト協が発行する啓発資料などを各種セミナーや広報誌などを通じ、過労死等防止の意識の高揚を図るとともに、過労死予防対策の普及・促進を図った。

- (3) 健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進 **公益2－【2】**

- ① 血圧計導入促進助成 23社 30台 1,495,000円
- ② 睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査助成  
14社 115名 575,000円
- ③ 「トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル」を活用したセミナー等を通じて、健康起因事故防止対策を推進するとともに、メンタルヘルス対策強化について普及・啓発を図った。

- (4) 労働災害防止の推進 **公益1－【5】**

荷主企業先を含めた労働災害の発生状況などの実態を調査分析・把握するため、陸上貨物運送事業労働災害防止協会などの関係機関と連携を図り、第13次労働災害防止計画

(2018～2022)を踏まえた労働災害防止に向けた取組みを促進した。

(5) 女性、高齢者の採用等少子高齢化に対応した労働力確保及び活用・育成対策の推進

**公益1－【5】**

トラック業界の労働力を確保し定着を図るために、若年者、女性及び高齢者の採用活動、採用後の労務管理などマニュアルの作成や、人材確保セミナーを通じ事業者への支援を図った。

また、女性ドライバーの雇用促進に向けた働き方、職場環境整備など女性が働きやすい職場の実現に向けた改善策を検討した。

## 平成30年度事業報告

### 〔専門部会〕 公益1-【5】-〈1〉-（ク）

現在設置されている8部会において、輸送秩序の確立や、事業経営の円滑化等共通の項目について推進を図った。

なお、本年度の各部会の活動は次のとおりです。

#### 1. 食料品部会

- (1) 平成30年 4月24日 (火) 福ト協会議室・第1回九州ブロック食料品部会
- (2) 平成30年 8月 1日 (水) 名鉄ニューグランドホテル・全ト協第39回食料品部会
- (3) 平成30年 8月23日 (木) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (4) 平成30年 9月 7日 (金) 富士ホテル・福ト協食料品部会全体会議及び実務担当者研修会
- (5) 平成30年10月25日 (木) J A熊本経済連・農産物等の物流効率化とドライバーの労働環境改善・持続的なトラック輸送の確保に向けた懇談会
- (6) 平成30年10月30日 (火) 福ト協会議室・第2回九州ブロック食料品部会
- (7) 平成31年 1月22日 (火) 熊ト協会議室・第2回部会員会議
- (8) 平成31年 3月 8日 (金) 八仙閣本店・九州各県食料品部会全体交流会

#### 2. 木材輸送部会

- (1) 平成30年 6月29日 (金) 八代ホワイトパレス・南九州四県合同部会長会議
- (2) 平成30年 8月23日 (木) 八代ホワイトパレス・第1回部会員会議
- (3) 平成30年 9月 6日 (木) 熊本ホテルキャッスル・南九州四県合同事務局会議
- (4) 平成30年11月16日 (金) 八代ホワイトパレス・南九州四県合同全体会議
- (5) 平成31年 1月21日 (月) 熊ト協会議室・第2回部会員会議

#### 3. 重量物輸送部会

- (1) 平成30年 4月18日 (水) 全ト協会議室・全ト協重量部会常任委員会
- (2) 平成30年 6月21日 (木) ホテルメトロポリタン山形・全ト協重量部会通常総会
- (3) 平成30年 8月25日 (土) 銀杏釜めし・第1回部会員会議
- (4) 平成30年11月26日 (月) 全ト協会議室・全ト協重量部会全国実務担当者研修会
- (5) 平成31年 2月 2日 (土) 火蓮・第2回部会員会議
- (6) 平成31年 2月 7日 (木) ANAクラウンプラザ沖縄ハーバービュー・全ト協重量部会経営者研修会

#### 4. ダンプトラック部会

- (1) 平成30年 8月24日 (金) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (2) 平成30年 9月 3日 (月) 大和屋本店・第42回全ト協ダンプトラック部会
- (3) 平成31年 1月22日 (火) 熊ト協会議室・第2回部会員会議
- (4) 平成31年 2月21日 (木) ホテルウイングインターナショナルプレミアム東京四谷・各県トラック協会ダンプトラック部会長会議

## 5. 引越部会

- (1) 平成30年 6月26日 (火) 大和屋本店・全ト協第45回引越部会
- (2) 平成30年 9月25日 (火) 熊本ホテルキャッスル・九州5県引越部会における合同研修会
- (3) 平成30年12月13日 (木) 全ト協会議室・全ト協第46回引越部会
- (4) 平成31年 1月29日 (火) 熊ト協会議室・第1回引越部会

## 6. セメント部会

- (1) 平成30年 7月27日 (金) 大阪駅前第3ビル17階・第36回全ト協セメント部会
- (2) 平成30年 8月22日 (水) 熊本県トラック協会城南支部会議室・第1回部会員会議
- (3) 平成30年11月13日 (火) 金之助八代店・第2回部会員会議
- (4) 平成30年11月22日 (木) ホテル日航熊本・九州四県合同セメント部会
- (5) 平成31年 1月16日 (水) 熊本県トラック協会城南支部会議室・第3回部会員会議

## 7. 青年部会継運会

### (1) 会議関係

- ① 総会 平成30年 4月21日 (土) ニューホテル熊本
- ② 正副部会長会議 平成30年 4月21日 (土) ニューホテル熊本
- 平成30年 6月21日 (木) TKPガーデンシティ
- 平成30年 8月21日 (火) 司ロイヤルホテル
- 平成30年11月14日 (水) TKPガーデンシティ
- 平成31年 1月17日 (木) TKPガーデンシティ
- ③ 部会役員会 平成30年 4月21日 (土) ニューホテル熊本
- 平成30年 6月21日 (木) TKPガーデンシティ
- 平成30年 8月21日 (火) 司ロイヤルホテル
- 平成30年11月14日 (水) TKPガーデンシティ
- 平成31年 1月17日 (木) TKPガーデンシティ

### (2) 研修会及び交流会関係

- ① 青年部会セミナー (部会員22名参加)  
平成30年4月21日 (土) ザ・ニューホテル熊本  
時代に即したドライバー採用事例研修会  
講演 テーマ「トラック運送業界の魅力が伝わる男のマナー  
～荷物を運ぶからお客様に喜ばれるへ～」  
講師 株式会社セレン・代表取締役 井上 幸氏  
専門講師を招聘し、部会員のスキルアップを図るとともに、他県青年部を含めた部  
会員相互の交流を深めた。
- ② 先進企業等視察 (部会員9名参加)  
平成30年9月19日 (水)  
ア 日野自動車八王子研修センター (東京都八王子市)

イ T E P I A先端技術館（東京都港区）

日野自動車のご協力を得て、安全に係る装置や自動走行等トラックの新技术に関する視察研修を行い、先進的な技術等を学んだ。

(3) 全国物流青年経営者中央研修会等への参加

① 全国代表者会議（部会長等参加）

平成30年 6月13日（水）全日本トラック協会会議室

平成30年11月12日（月）全日本トラック協会会議室

平成31年 2月21日（木）全日本トラック協会会議室

② 九州ブロック大会（部会員14名参加）

平成31年 2月 1日（金）ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

③ 全国大会（部会員10名参加）

平成31年 2月22日（金）京王プラザホテル

(4) 九州地区運輸青年部連絡協議会役員会

第33回(公社)全日本トラック協会九州ブロック大会を充実した大会にするため、各県の役員（正副部会長）で開催内容等について協議検討を図った。

① 平成30年 5月25日（火）博多八仙閣

② 平成30年 7月 3日（火）ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

③ 平成30年 9月10日（月）TKPガーデンシティ

④ 平成30年12月 6日（木）福ト協

(5) 他県トラック協会青年部及び異業種との交流会

① 他県トラック協会青年部と交流を深めた。

ア 平成30年 8月 8日（水）鹿児島・宮崎青年部との3県交流会

イ 平成30年 8月24日（金）長崎県青年部30周年記念式典

② 熊本県中小企業団体中央会青年部協議会を通じて異業種交流会へ参加し交流を深めた。

ア 中小企業団体中央会青年部協議会総会（参加者2名）

平成30年 6月28日（木）熊本ホテルキャッスル

イ 九州ブロック青年部の集い（参加者1名）

平成30年10月25日（木）ホテル日航熊本

(6) 協会本部・支部と連携して行った活動

① 「トラックの日」関連事業

ア 「トラックの日」PRイベント・くまフェス

平成30年12月1日（土）2日（日）花畑広場

青年部会が主体となり、マンガやアニメなどのポップカルチャーをテーマにしたイベント「くまフェス」に出展し、運送業界が10代から20代の若者との接点を持ち災害時における緊急物資輸送をはじめとする業界の社会的役割とやりがいのある仕事であることなどのPRを行った。

#### イ 環境クリーンキャンペーン

各支部で行う主要道路や公園等の清掃活動に積極的に参加した。(10月)

#### ② 物流出前授業の開催

若年労働者の育成と国内輸送の9割を担う業界の重要性に対する理解促進を目的に受け入れ希望のあった高校において開催した。(5校)

ア 平成30年6月 5日(火)九州学院高等学校

イ 平成30年6月18日(月)松橋高等学校

ウ 平成30年6月28日(木)開新高等学校

エ 平成30年7月10日(火)熊本学園大学

オ 平成31年2月26日(火)御船高等学校

#### ③ お仕事探検フェアへの出展

高校生向けに開催されたお仕事探検フェアへ出展し、若年労働者の育成と国内輸送の9割を担う業界の重要性に対する理解促進に努めた。

#### ④ 各種講習会・セミナー等

協会本部の主催するセミナー・講習会に参加し、必要な知識の理解促進と受講者間の人的ネットワークの醸成に努めた。

### 8. 女性部会(肥後六花会)

#### (1) 会議関係

① 平成30年 7月 6日(金)全ト協会議室・九州・四国ブロック女性部会代表者会

② 平成30年 7月 6日(金)全ト協会議室・全ト協女性部会全国代表者協議会

③ 平成30年 8月 6日(月)熊ト協会議室・臨時女性部会

④ 平成30年 9月 3日(月)熊ト協会議室・第1回女性部会及び研修会

演 題:「働き方改革」にトラック運送業界はどう向き合うのか

講 師:株式会社ヒューマナイズ 代表取締役 吉次 潤 氏

参加者:12名

⑤ 平成30年 9月12日(水)明治記念館・全ト協女性部会全国研修会

⑥ 平成31年 2月 7日(木)熊ト協会議室・第2回女性部会及び研修会

演 題:賃金・労働時間・解雇等の労使間トラブルの対処法等について

講 師:社会保険労務士 中嶋 博之 氏

参加者:12名

#### (2) その他

① 平成30年 4月17日(火)瑞恵本店・女性部会情報交換会

② 平成30年10月10日(水)サポ-トホール高松・第23回全国トラック運送事業者大会

③ 平成30年12月 1日(土)~2日(日)花畑広場・「トラックの日」PRイベント・くまフェス